



Fig. 1 3 本の撮影レンズを持ったカメラ



Fig. 2 4 本の撮影レンズを持ったカメラ



Fig.3 9 本の撮影レンズを持ったカメラ



# 画像からくり



◀ Fig. 1  
3本の撮影レンズを  
持ったカメラ



Fig. 2 ▶  
4本の撮影レンズを  
持ったカメラ



◀ Fig. 3  
9本の撮影レンズを  
持ったカメラ

## 口絵解説

### 「画像からくり」 第2回 3本、4本、9本の撮影レンズを 持ったカメラ

#### 2. Cameras with 3, 4 and 9 taking lenses

桑山 哲郎

「3本の撮影レンズを持ったカメラ」または「9本のカメラ」と聞いて、どんなカメラを想像されるだろうか。4本のレンズが長方形に配置されているカメラは現在多数発売されており、書店のビジュアルブックのコーナーや美術館のミュージアムショップで手に入る。けれども撮影レンズが3本、あるいは9本のカメラは比較的珍しい。

社会人を対象とした大学院の博士課程（芸術工学専攻）に入学し、研究対象の対象の一部として、複数の撮影レンズを持ったカメラを取り扱い始めてから、いろいろなカメラが手元に集まってきた。まずは、写真でそのユニークな顔つきをご覧いただきたい。

細かい技術情報は専門書に任せるとして、写真に見えるカメラについて簡単に説明する。(1) Fig. 1の向かって左は「Kodak スナップキッズ 3D」という名前のレンズ付きフィルムである。3本の撮影レンズが約18mm間隔で並んでいて、レンチキュラーステレオ写真プリント用のカラーネガを撮影する。フラッシュ付きとフラッシュ無しの機種があり、同時期にコニカからは「撮りっきりコニカ 3D」が発売された(1994)。(2) Fig. 1右は「ROBOT 3」という名前が付いている、35ミ

リフルサイズに3つの写真を同時に撮影するカメラである。画面は2枚は18×12mm、1枚は36×12mmの画面寸法という、珍しい構造のカメラである。現在発売中で、メーカーは韓国のREDCAMERA社、中国製である。(3) Fig. 2上は、ボディに書いてある通り「よんコマカメラ」である。35ミリフルサイズを4分割して4枚の写真が一度に撮影できる。時間差を持ってシャッターが開く動作をするので、被写体の動きが記録できる。この構造のカメラは多数販売されていて、30種類以上持っていないとコレクターとして認められないといううわさもある。中国製。(4) Fig. 2下は、4本の撮影レンズが並んだ「ニシカ(Nishika) N8000」3Dカメラである。レンチキュラーステレオ写真の撮影用である。同じ撮影画面のカメラとしては、1983年に発売された「ニムスロー(NIMSLO) 3Dカメラ」があるが、ニムスロー社が倒産後その資産の一部を買い取ったニシカ社が、1989年に発売した。(5) Fig. 3手前は、(株)セガ・エンタープライゼスから発売された「フォトプリ倶楽部」という名前のカメラである。35ミリフルサイズの画面を9分割した写真が撮影できる。プリントしたときに一度に9枚のシールができることを謳っている。この構造のカメラは、1850-60年代、湿版感材の時代に人気があったカメラと全く同じ狙いで作られている。(6) Fig. 3奥は、豪華な造りの本の一部に組み付けられて販売されているカメラである。本のタイトルは「On Barcelona」で、フィルムが装填された状態で販売されている。手前のフォトプリ倶楽部と同じカメラボディであると思われるが、前面は金色の金属光沢面に仕上げられている。正面から撮影すると、撮影者の姿が映ってしまうので、角度をつけて撮影した。

カメラの歴史の本には、16本あるいは25本の撮影レンズを持ったカメラも掲載されているので、私のコレクションにもぜひ加えたいものである。